



早期の交通渋滞解消が望まれます
(山田インターチェンジ付近の交差点)



道又秀悦議員

道路行政

山田IC付近の渋滞解消

インターチェンジ

今しばらく時間がかかる

質問 平成十七年第四回議会定例会で、三陸縦貫自動車道「山田道路」インターチェンジ付近の交通渋滞の解消を質問したところ、「県立山田病院完成後、交通環境が大きく変わる」とが想定されることから、

所管の県公安委員会に早期に改善に取り組むよう要望する」との答弁であった。県立山田病院は、十八年

十一月一日に開院した。その後の取り組みはどのようなに進んでいるか。

沼崎町長 以前の議会でも同様の質問があり、具体的な要望を三陸国道事務所に行い、バス停車時の渋滞解消のためのバスプールの設置、スリップ対策としての定置式凍結防止剤散布装置が設置された。交通信号施設の見直しについても、

そんなに遠くない時期に実現できるかと思っていたが、交通信号施設は県公安委員会の所管とのことであり、交渉窓口を宮古警察署として要望している。

窓口である宮古警察署では、交通量調査を実施し最善の交通規制を検討中とのことであり、今しばらく時間がかかるのではないかと思っている。

町の考えを聞く



カキむき作業の様子（大沢の養殖漁家）

水産振興

カキ殻等堆肥化施設の建設計画

実証試験は順調に推移

質問

大沢漁協が平成十八年度実現を目指して取り組んだ「カキ殻等堆肥化施設建設計画」は、「産業・地域ゼロエミッション事業」の二次選考で不採択となった。残滓処理は緊急を要する

課題である。十九年度に建設の見通しはどうか。

沼崎町長 現在、堆肥化実証試験は順調に推移しており、今後、試験の完成品から詳細なデータを収集する。懸念されているのは塩

分の影響だが技術を提供している業者からは、塩分が問題となったことはないと言われている。実証試験のデータにより審査会の懸念が払拭されることを期待している。

質問

採択された場合の建設費と補助率は。内田水産振興主幹 建設費は約五千万円と考えている。県からは二分の一が補助される。残額は事業主負担となる。

質問

町の支援をどのように考えているか。沼崎町長 町でも応分の補助は考えたい。